

一年間、多くの発信ができました

校庭の花も咲きほころび、ようやく春めいてきました。本年度も残すところあとわずかとなりました。卒業式等に向けてお忙しいことと思います。

さて、本年度ユネスコスクールとしてESDの活動はいかがだったでしょうか。本年度は、「持続発展教育推進拠点として、研究・実践に取り組み、その成果を積極的に発信することを通じて、持続発展教育の理念の普及に努めること」としたガイドラインの「発信」を示し、取組をしていただきました。各学校発信をテーマとして、①学校・学年だより②地域・保護者への発表会③地域・保護者の参加体験型④ユネスコスクール子どもサミット⑤スライドショー⑥新聞掲載⑦ユネスコスクールだよりなど、多くのすばらしい成果を発信することができました。また、来年度も交流を深め充実した活動を発信させていきたいと思います。

ユネスコスクールの継続的・安定的活動を目指して

大牟田市は、ユネスコスクールに加盟して2カ年が過ぎました。本年は「国連ESDの10年(DESDE)」の最終年になります。「ユネスコスクールのあり方とその更なる発展を考えると、ESDの推進拠点であるユネスコスクールの継続的・安定的活動が重要となってきます。」(日本ユネスコ国内委員会事務総長 加藤重治)とあります。来年度3年目の活動にあたり、更なる充実を目指していくため、再度活動の目的とメリットを確認をしたいと思えます。

【ユネスコスクールの活動目的】

- ユネスコスクール・ネットワークの活用による世界中の学校と生徒間・教師間の交流を通じ、情報や体験を分かち合うこと
- 地球規模の諸問題に若者が対処できるような新しい教育内容や手法の開発、発展を目指すこと

【ユネスコスクール加盟のメリット】一部

- 世界のユネスコスクールの活動情報の提供
- 世界のユネスコスクールと交流する機会の増加
- 米国、韓国、中国等海外との教員交流
- 国内の関係機関との連携強化(ASPUivNet等)
- ◎来年度は加盟のメリットを活用した活動を広げていきたいと思います。



大牟田市立甘木中学校の実践

「職場体験」活動を通して

本校2年生は、キャリア教育の一環として職場体験を実施し、働くことの意義について考えました。多くの事業者から協力を得て、少人数のグループでいろんな分野の職場で実際に3日間働きました。事前にゲストティーチャーを招き、礼儀・マナーや体験したことのまとめ方を学習しました。職場で働いている方にインタビューしたことや説明を受けたことを模造紙や新聞形式にまとめてみました。実際に働いてみないとわからない苦労や喜びを実感することができました。将来の自分の進路に役立ててほしいと思います。



大牟田市立手鎌小学校の実践

郷土の伝統を伝える「がたいね踊り」の活動を通して

手鎌小学校の5年生は、郷土の伝統を調べよう「がたいね踊り」というテーマで、地域の伝統、大牟田の宝もの「がたいね踊り」に触れ、郷土伝統のよさをみんなに伝える活動に取り組んでいます。

まず、地域のがたいね保存会の方から、「がたいね踊り」や「黒崎の歴史」についての紙芝居や踊りを実際に見せていただきました。「がたいね踊り」は、干拓工事の時にがんばった女性(がたいねさん)の作業唄でユーモアたっぷりに表現されていることがわかり、手鎌地区公民館で行われている「ふれあい文化祭」では、市内・地域の方々へ、気持ちが伝わるように発表しました。

